

研究課題名	ベキサロテンによる甲状腺機能・脂質代謝への影響の検討
研究の意義・目的	皮膚 T 細胞性リンパ腫の治療薬であるベキサロテンによる副作用として、甲状腺機能低下症や脂質異常症が知られています。そのため、ベキサロテン投与中は、甲状腺機能低下症や脂質異常症に対する定期的なチェックが必要なが分かっています。しかしながら、ベキサロテンによる短期的あるいは長期的な甲状腺機能低下症や脂質異常症に与える影響は十分には明らかではありません。そのため、ベキサロテン投与中の甲状腺機能・脂質異常に対する適切な治療法も十分に確立されていません。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ <u>2025年12月31日</u>
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2017年4月1日～ <u>2020年3月31日</u> に、皮膚 T 細胞性リンパ腫患者の中で、ベキサロテン投与による甲状腺機能・脂質代謝異常の管理目的に、大阪市立大学医学部附属病院の内分泌・骨・リウマチ科に受診された方が対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 検査データ、診療記録。
試料・情報の他機関への提供	該当なし
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院 内分泌・骨・リウマチ内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 研究責任者 藏城 雅文
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 (担当者氏名) 藏城 雅文 電話番号：(06) 6645—3806